

市民セミナリヨ

2回
シリーズ

～紙芝居で見る長崎原爆～

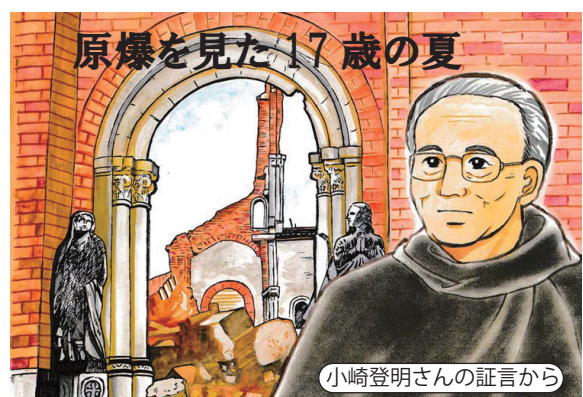
2020年10月、核兵器禁止条約の批准国が50カ国に達しました。
いま、改めて被爆者の証言に耳を傾け、「核兵器のない世界」に向けての一步を
共に踏み出してみませんか。

会場 / 浦上キリシタン資料館



「私を平和の道具としてください」
片岡ツヨさんの証言
「生きていてよかった」

2020 12/6 (日)
13:30～14:30



「平和の原点は、人の痛みがわかる
心を持つことです」

小崎登明さんの証言
「原爆を見た17歳の夏」

2021 1/24 (日)
13:30～14:30

語り手 西岡 由香 (にしおか ゆか)

漫画家。1999年「ピースボート」地球一周の旅をきっかけに平和活動始める。2008年、長崎原爆をテーマとした『夏の残像 ナガサキの八月九日』を発表。2015年、「被爆マリアの祈り—漫画で読む三人の被爆証言」で平和・協同ジャーナリスト基金賞特別賞を受賞。著書「愛のひとド・ロ神父の生涯」、「愛のまち 漫画で読む長崎キリシタン史」、絵本「パパ様と長崎」(長崎文献社)など。

●主催:  アジェンダNOVAながさき
<http://www.feature.jp/agenda/>

●申し込み: 浦上キリシタン資料館(長崎市平和町11-19)

(電話/FAX 095-807-5646・メール urakamicm@mx.a.cncm.ne.jp) 宛に氏名・連絡先をご連絡ください。

●問い合わせ: 林田 (090-7923-7435)

(新型コロナ対策のため、入場時に検温させていただきます)

参加費 500円(各回) 高校生以下無料
【定員 20名(先着順)】